
守るべき者、守られるべき者-攘夷戦争編-

鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

守るべき者、守られるべき者 - 攘夷戦争編 -

【Nコード】

N3168Z

【作者名】

鈴

【あらすじ】

攘夷戦争、それは天人と侍の戦い。そこに最強と呼ばれた四人組が存在した。友情物語 - 攘夷戦争編 - / 十話以内に完結予定 / 不定期、気まぐれ更新 /

一話 - 傷 -

、人と共に、人、で在りなさい。

は、っと目が覚めた。見開いた瞳に写るのは古くさい天上。頬を伝って流れる汗を「しし」と袖で拭くと、かばっと上半身を起こした。

嗚呼、夢か。

はあっと深い溜め息を付き、立ち上がろうと腹に力を込めるとズキリと激痛が走る。

「……っ！」

激しい痛み顔に顔を歪ませ腹を右手で押さえた。強い痛み目眩まで感じていた気がする。

暫し、そのままの態勢で居ると少しばかり痛みが引いてきた。とはいえ、動かなくとも感じる痛みは酷い程の激痛。

「あー……」

そついやア、

昨日、斬られたんだっけ。確か思い切り腹ア、斬りやがったんだあのデカ天人コノヤローに。

基地に戻ると案の定、桂に激怒され、何故か辰馬には頭突きされ。

高杉は、

覚えていない。辰馬に頭突きされたお陰で、ただでさえ大量に血を流してしまった為に起きた貧血が酷くなってしまい気を失った。

その時に、高杉は居なかった。…はず。あいつは独りが好きな野郎

だから、どこかへ行っていたのだろう。

「痛エ……………」

そう考えるうちによりいつそう増した痛み。心臓の鼓動の様にズキ
リズキリとテンポよく痛みが襲ってくる。

布団の上で、若干前屈みになりながら目をきつく絞め眉を寄せる。

「……………」

再度溜め息を付き、若干汗ばんでいる前髪を左手でかきあげれば気
合いを入れ直した。

よし、っと心の中で掛け声を掛け、ゆっくりと傷口を庇いながら立
ち上がる。

「あー……………糖分不足」

フラフラとする足取りと、ハッキリしない意識は貧血のせいだと分
かっているものの、糖分のせいにしてみた。

嗚呼、まだ眠イ。

そんな事を考えながらのそのそと自室を出て、基地の門へと歩み始めた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3168z/>

守るべき者、守られるべき者-攘夷戦争編-

2011年12月11日00時58分発行